



# 山梨いのちの電話

## 相談電話 / 055-221-4343

毎週火曜～土曜 / 午後4時～午後10時、ひとりで悩まずにお電話ください

「根の道」 てんどうこみち

困難に

出合うたびに

深きへと伸びる

時に枝葉が折れ

花のない年が

あつたとしても

根の道が

生きていけば

また芽を吹くだろう

時の風や

静寂を超えて

また光を浴びるだろう



2021年 夏

第57号

まじ

「節から芽を吹く」 山梨いのちの電話理事 武井久次 1

NPO法人山梨いのちの電話20周年記念式典 2

20年間の受信統計 ・通常ダイヤル・フリーダイヤル 3~4  
・震災ダイヤル

山梨いのちの電話総会 5

山梨いのちの電話を支えて下さる方々 6

報告 / あゆみ / 編集後記 7



## 「節から芽を吹く」

山梨いのちの電話理事

武井久次

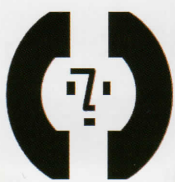
開局から20周年という節目の年を迎え、重ねた年輪を記念誌に記し後々に残すことができました。木を伐り出すと、その断面には年輪が刻まれています。年ごとの輪がそこに残るのは一年の中で成長しやすい時と成長しにくい時があるからです。また、よく見ると年輪の中心が片寄っているものがあつたりします。これは、斜面に木がある場合、山側は枝の伸びる余地が少ないけれど、谷側は伸び伸びと枝を伸ばせる。そうすると谷側の年輪の幅が広がるそうです。そうした、状況の違いや変化がこのように味のある年輪を残してくれるのだそうです。また、木には節というものがあり、神社やお寺の廊下にピカピカの節を見たことがあると思いますが、あの節は枝の根本であり芽が生えたところになります。

私たちは生きていく中で苦しかったり大変な時を節と表現します。節のない人生はおそらくないでしょうし、そうした節を経て私たちは成長し、そのお陰で味わい深い人生になっていることができると思います。

山梨いのちの電話は無我夢中で発足に向かったような始まりでした。つかまり立ちから、おぼつ

かないながらも一人で歩きだし、今日を迎えています。その中で初代理事長の大澤英二氏は、種から根を張り、芽を吹く時の核になった人でした。いのちの電話は民間のボランティア団体で、一般の市民の中から相談員を募集し、その研修と養成が必要です。さらに活動の拠点となる所が必要であり、そこに電話を数台設置して初めて活動を行うことが出来ます。開局し運営していくには資金が必要でした。活動の最前線は相談員の皆さんということになりますが、活動の縁の下、そうした影の部分で必死に走り回って下さったのが大澤氏です。私は当初から広報誌の作成に関わらせて貰っていますが、会費や寄付を寄せて下さった方のお名前を載せる頁については、とても厳しくご意見を頂きました。少しも早く載せるように、お名前に間違いがあつてはならないと、いつも丁寧に確認をして下さった姿を忘れられません。

20周年を前に大澤初代理事長が亡くなられたことは、この団体にとってひとつの節であったと思います。大望という大切なものを踏まえてなお、現実に根差した視野を失わないこと。氏から学んだこのことを大切にしたいと思います。



## わたしたちの活動を支えて下さい！

こころの苦しみに寄り添う「いのちの電話」は、相談員と共に設備や運営費の支援ボランティアが必要です。みなさまのご理解とご協力を、お願い申し上げます。



- 正会員 個人会員（年間一口以上） A 3,000円 B 5,000円 C 10,000円  
法人・団体会員（年間一口以上） A 10,000円（何口でも）
- 賛助会員 個人会員（年間一口以上） 5,000円／団体会員（年間一口以上） 10,000円
- 寄付金 金額にかかわらず、随時お受け致しております。
- 振込先 「山梨いのちの電話」理事長 高戸 宣人  
・郵便振替 00250-8-34938 ・山梨中央銀行本店 普通 1736737

※銀行よりお振込み頂く場合には、お手数ですが、お名前・住所、会費・寄付等の区分について F A Xか電話にて山梨いのちの電話事務局まで、お知らせ下さいますようお願い申し上げます。

## 山梨いのちの電話開局20周年記念式典



山梨いのちの電話の20周年記念式典を、令和3年4月12日(月)、山梨県立図書館イベントスペースを会場に開催致しました。

午後1時30分の受付が始まると、県内在住の関係者や協力団体及び報道関係の方々が会場にお集まり下さり、理事長による20年間の活動の報告に対し、山梨県及び甲府市からの感謝と激励のお言葉を賜りました。また、常にご支援を戴く団体の中から二つの団体の代表の方に感謝状の贈呈をさせて頂くことが出来ました。今日までご支援を頂きました総ての皆さまに、心より御礼を申し上げます。

### 局20周年記念式典



挨拶

高戸宣人  
理事長



祝辞

山梨県副知事 渡邊和彦氏



感謝状贈呈



祝辞

甲府市副市長 工藤眞幸氏

ライオンズクラブ国際協会330-B地区 会長代理渡邊和廣氏



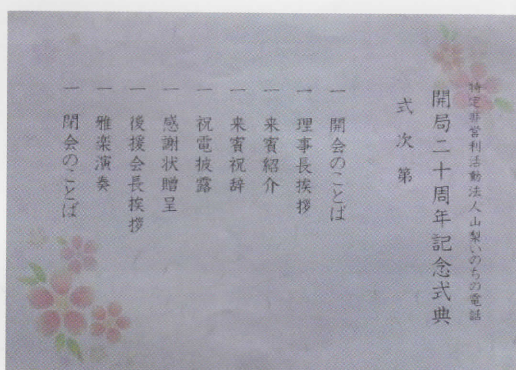
感謝状贈呈

山梨いのちの電話後援会長 金丸康信氏



祝辞

山梨県議会議員 白壁賢一氏



式典の終わりに、当団体の活動に対して、NPO法人グローカリー山梨/雅梨会の方々より雅楽演奏によるエールを頂きました。



## \* 統計について

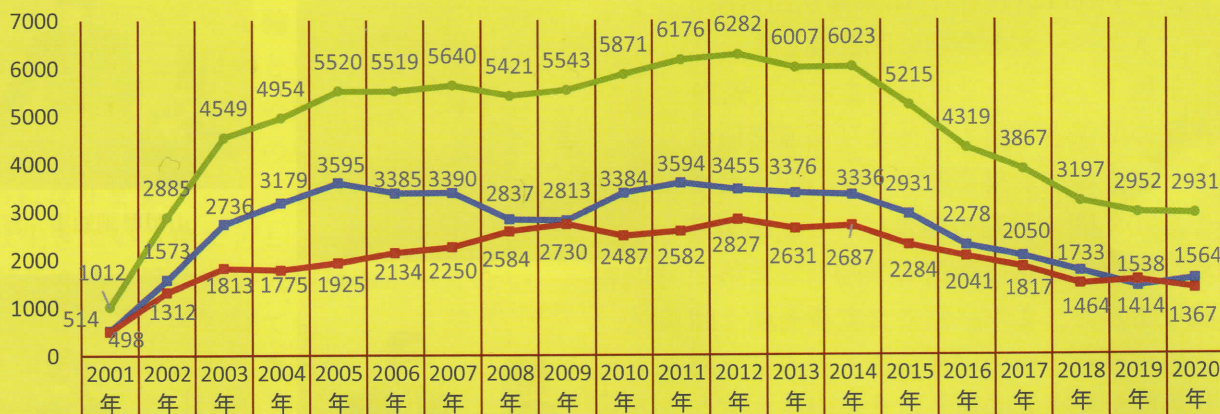
ものごとを見る時に、そこで起きている事を理解するひとつの手立てが数字です。全体の大きな流れや状態の変化が数字に見えてきますから、統計によって活動の評価が為されることは多いものです。

しかしながら、受信統計が表す量や長さを構成している、1という数字のなかに繰り広げられた世界は万別のものであります。それは数字では表せないものであり、ここらと向き合うこの活動の意義を数字の量で表すことは難しいと言えます。この統計の総ての数字には様々なところの世界があるということをご理解頂きたいと思ひます。

ひとつひとつの出会いに真摯に向き合い、寄り添いたいと願って活動してきました20年間を、統計グラフをたどりながら振り返ってみたいと思ひます。

## 通常ダイヤル20年間の受信 93,883件

— 男性 — 女性 — 合計件数



— 男性 —	514	1573	2736	3179	3595	3385	3390	2837	2813	3384	3594	3455	3376	3336	2931	2278	2050	1733	1414	1564
— 女性 —	498	1312	1813	1775	1925	2134	2250	2584	2730	2487	2582	2827	2631	2687	2284	2041	1817	1464	1538	1367
— 合計件数 —	1012	2885	4549	4954	5520	5519	5640	5421	5543	5871	6176	6282	6007	6023	5215	4319	3867	3197	2952	2931

## \* 通常ダイヤルの年間受信数推移について

統計は1月～12月で取っています。山梨いのちの電話は2001年の4月に始まり、その年の12月までに1,012件を受信。その後電話の数は増え続けますが、5,500件付近が山梨センターが受けることのできるラインのように見うけられます。2010年の8月から2014年の間は週6日間の相談業務を行い、年間50日分の受信数が増えたので、6,000件代を推移しています。より多くの不安や苦しみに寄り添いたいとの思いがそこにあった訳ですが、相談員の負担が増えたということも事実かと思ひます。この4年間は、他県のセンターの規模と比べて格段の人数差がある「山梨いのちの電話」の揺れ動く姿にも見えます。2015年からは、当初の火曜日～土曜日という週5日の日程に戻すことになりました。

実働相談員は2001年の68名に始まり、その後も毎年相談員養成研修を行って新しい相談員の誕生に努めますが、新しく始める人と事情で辞められる人があり、その後は70名～51名の間で増減を繰り返しながら活動を続けて参りました。相談員も家庭の様々な事情のなかにあり、子育てや介護、また自身が体調を崩されることもあります。相談員の減少という流れは2018年からさらに加速して、2019年には実働相談員が31名までになり、現在は37名の相談員が電話を受けています。

年間受信数の背景について説明致しましたが、日々かかってくる電話は受けた数より遥かに多くあり、「いのちの電話」は中々繋がらない電話と言われてています。全国のセンターを取りまとめる連盟から、2019年の年間受信数を約62万件と報告されています。常に75万件以上あった2010～2013年頃と比べて2割ほど減っていますが、かかってくる電話が減ったということではないことを申し上げておきます。

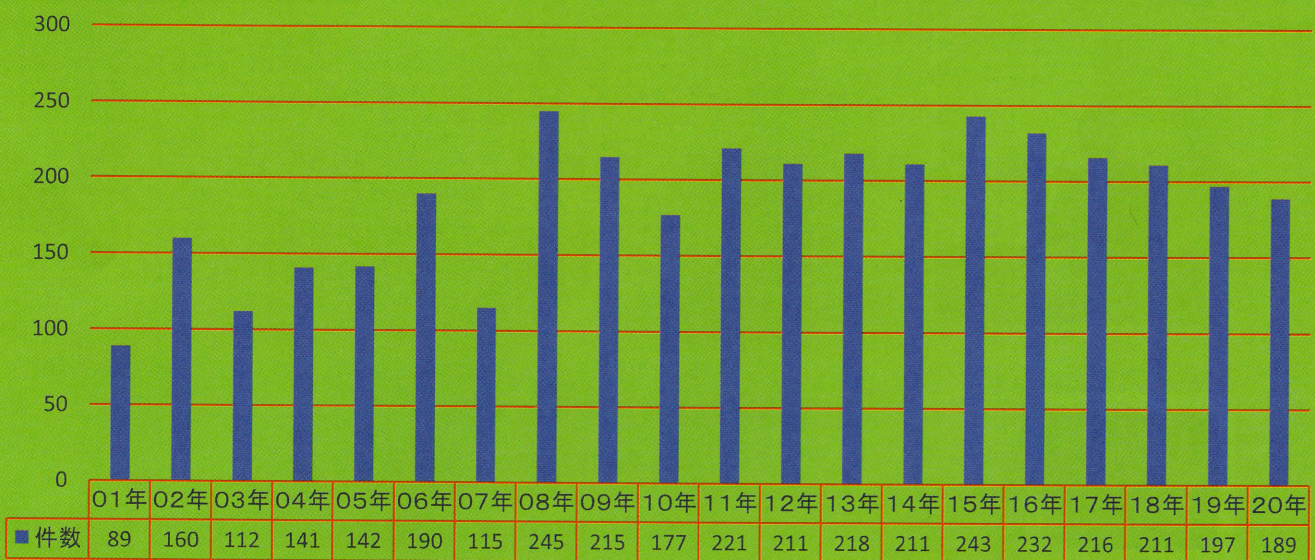
## \*フリーダイヤルについて

ちょうど山梨いのちの電話が誕生した2001年から、日本いのちの電話連盟では通常の相談受付以外に「自殺予防フリーダイヤル」を始めました。これは、厚生労働省の働きかけを受けて、電話のかけ手に通話料が掛からない形で、より危険な状態の人からの電話を受けることが主旨のものです。当初は年末の7日間をキャンペーン的な形で行っていたものでしたが、2007年9月からは毎月10日を「フリーダイヤルの日」と定めて行う形になり現在に至っています。連盟内全体として毎月10日の24時間を受け付けていますが、山梨ではその中の13時から22時の9時間を受け付ける形で参加しています。

通常の受信で「自殺念慮」が強く伺える電話は、全体の1割程度の統計ですが、フリーダイヤルでは3割前後になっており、より重い相談内容であることが窺えます。全てのセンターにおいて特別研修を行い、このフリーダイヤルは行われています。

連盟全体では年間に28,000件程の受信が報告されており、山梨ではその中の200件前後の電話を受けています。相談内容は通常ダイヤルとほぼ同じ様な比率にあり、多い方から「精神」「人生」「家族」「対人」その他、という順になっています。

フリーダイヤル受信統計グラフ 2001年～2020年 (3,735件)



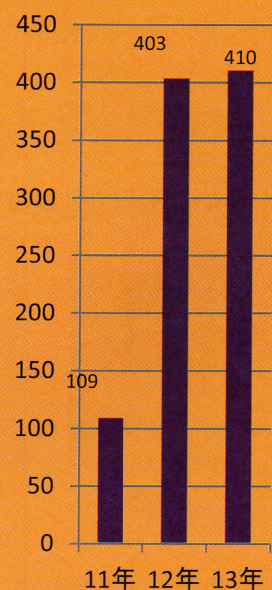
## \*震災ダイヤルについて

2011年3月11日を境に3つのセンターが活動を停止せざるを得ない状態になり、「震災ダイヤル」の立ち上げとなりました。2001年から「自殺予防フリーダイヤル」に取り組んできた経験も生きて、全国のセンターが協力する形をとることができたのですが、こうした非常事態の中での対応は難しく、「震災を経験したことのない者が話を聴くことができるのか」という不安がありました。被災地に起きている事態と被災地の方々の心情を理解しようとする姿勢をもって向き合い、寄り添うことに徹底すること。その中において言葉にしてはいけないことなどの研修を重ねながらこの取り組みを終えました。ドイツのルツ・ヘットキャンプ氏からの義援金を始め、国内の多くの寄付、助成金をもってこの活動が為され、2年間で約4万件の電話を受信しました。

この震災ダイヤルでは、被災地の人々のストレスから「怒り」や「苛立ち」の声を直接聴く相談員のメンタルヘルスの必要性が強く感じられました。現在、新型コロナウイルスによる全世界的な危機状況にあります。職場や家庭、社会生活は厳しい状況下であり、そうした不安やストレスからの電話を受ける相談員のケアも大事となっています。

震災ダイヤル受信統計 2011年～2013年

(922件)



## 山梨いのちの電話定期総会



5月16日(日)

県立図書館

イベントスペース



総会に先立ち、初代理事長夫人・大澤祥子氏をご挨拶くださいました。お話に、大澤英二氏が最後までいのちの電話のことをこころに思い、ご心配下さるお姿を拝し、熱いものがこみ上げてきました。

氏の活動をずっと支えてこられた奥様の歩みが表に語られることはないでしょう。広報誌のことでお電話を取り次いでいただくことが多々ありましたが、この度お目にかかり、お礼を申し上げることが出来ましたことは幸いです。(H.T)



引き続き功刀弘理事(前理事長)が、大澤氏の思いと大きなお働きの後を引き継ぎ、今ご自身に出来る事として、この一年間取り組んでこられたことを明かされました。

この活動を元気に続けられるようにという、眠りについての大切なお話をメッセージとして聴かせてくださった後に、これまで精神科医として取り組み得たものを一冊の著書に仕上げられたことをご報告され、その著書を山梨いのちの電話の礎に捧げてくださるというものでした。



### 「良い眠りが認知症を予防する」

～精神科医が55年目に気づいたこと～

功刀弘著 文芸春秋社(8月出版予定)

この本を買って読んでいただくと、眠りのことがよく分かり認知症の予防につながる上に、山梨いのちの電話の活動基金になります。

最後に事業委員会から8月開催の20周年記念イベントについての発表がなされました。

## 東京HANAカルテット ～いのち奏でるコンサート～

2021年 8月29日(日)

～音楽で脳をリラックス♪ いい睡眠をとみましょう～

13:30/15:30 二回公演

・山梨県立図書館イベントスペース

全席自由席 1500円

※山梨いのちの電話の活動に寄付されます/販売・チケットびあ



フルート  
園城三花



ヴァイオリン  
中島麻



ヴィオラ  
小山佳織



チェロ  
堀沙也香

東京・華カルテット

詳しくは、  
山梨いのちの電話  
ホームページを  
ご覧ください。



## 山梨いのちの電話を支えて下さる方々

多くの皆様の変わらぬお心寄せに感謝いたします！

※2020年 9月～2021年3月受付分

★会費 401,000円

★寄付金 806,447円 ☆合計 1,207,447円

### いつもありがとうございます

#### 個人会員

相沢智子 小野正毅  
秋山敏子 金子 敏  
秋山雅子 川辺修作  
浅香昭雄 京嶋愛子  
浅川龍一 功刀 弘  
安里節子 久保眞一  
浅野和子 弦間佐枝子  
足立英二 輿石郁生  
雨宮敬子 小島章弘  
飯島朱美 五味さち子  
飯野志津子 三枝伸子  
石川美咲 佐藤重良  
伊藤千永子 佐野春子  
稲木礼子 里吉敦子  
稲永澄子 塩澤一夫  
臼井成夫 清水隆善  
内田詢子 清水洋子  
江波幸子 志村治夫  
榎本富美子 志村光子  
遠藤賢子 杉田博子  
遠藤久美子 鈴木健司  
大木正人 高野嶺二  
大久保昌代 武井久次  
太田香夏子 田中健太  
太田孝男 田中司郎  
大森純子 丹澤眞理子  
大森浄二 妻鹿絢子  
大森雅子 中込まさゑ  
大森雄介 中島利夫  
小野加代 松垣節子

深沢由紀子  
古屋順子  
古屋徳子  
細川佳美  
榎雄一郎  
松村豪夫  
松村仁子  
山口篤子  
山口久美子  
山田あや子  
横森洋子  
横山 宏  
匿名 1名

#### 寄付／個人

浅香昭雄  
池田愛子  
今津みゆき  
遠藤久美子  
大澤祥子  
小田切てる美  
小田切陽一  
小沼加與  
影沢礼子  
柏木定男  
勝上香枝  
橘田 勇  
功刀茂樹  
功刀 弘  
功刀和喜子

窪田節子  
久保田千代子  
小池ひろみ  
小林幸恵  
齊藤英子  
齊藤洋子  
佐藤重良  
清水隆善  
反田克彦  
高戸宣人  
武田紀久江  
千野幸子  
出山治子  
内藤保雄  
中川秀次  
中川洋子  
中込まさゑ  
中澤洋子  
長沼勝利  
野々垣健五  
広島民雄  
深澤聖子  
宮川三枝子  
宮下永子  
望月みち子  
谷戸三治  
山口 誠  
山本恵美  
渡辺圭子  
匿名 4名

#### 団体会員

(株)長田不動産管理  
(株)山梨中央銀行  
連合山梨

#### 寄付／団体

(株)エヌプラン  
学校法人市川幼稚園ひかりの家学園  
学校法人山梨英和学院教職員一同  
公益財団法人  
山梨県暴力追放運動推進センター  
甲府聖オースチン教会  
山日YBS厚生文化事業団(寄託)  
なでしここども園  
日本キリスト教団愛宕町教会  
日本キリスト教団市川教会  
日本キリスト教団峡南教会婦人会  
日本キリスト教団韮崎教会婦人会  
日本キリスト教団山梨教会  
日本キリスト教団山梨分区信徒会  
日本キリスト教団谷村教会  
富士吉田キリストの教会  
ボランティアグループ孝進会  
山梨県立北病院ボランティアのびる会



#### 5万円以上の寄付再掲

大澤祥子  
ボランティアグループ孝進会  
山日YBS厚生文化事業団(寄託)

※50音順・敬称略とさせていただきます。お名前の誤り、記載もれ等ございましたら事務局までご一報をお願いします。また、匿名を希望される方も、事務局までお知らせくださるようお願い致します。

## 報告

- 1月16日（土）甲府市総合市民会館にて、自殺予防講演会が開催されました。  
「思春期のゲーム依存、ネット依存～その裏にひそむもの～」 志田博和氏
- 4月12日（月）山梨県立図書館にて、設立20周年記念式典を開催いたしました。
- 5月16日（日）山梨県立図書館にて2021年度定期総会が開催され、2020年度事業報告及び決算報告、2021年度事業計画及び予算、役員改選を含む各議案が承認・可決されました。

NPO法人山梨いのちの電話役員（任期2年）

理事 小田切てる美（事務局長） 河西長武 功刀 弘 窪川ゆかり 塩澤一夫  
清水隆善 志村治夫 高戸宣人（理事長） 武井久次 永井愛子（副理事長）  
監事 太田孝男 露木淳司

## あゆみ（2020年9月～2021年3月）

9月 5日	17期養成研修	16日	事務局会議
10日	フリーダイヤル実施	21日	理事会
16日	事務局会議	1月 8日	事業委員会
21日	理事会	9日	公開講座（清水隆善講師）
25日	事業委員会	10日	フリーダイヤル実施
10月 5日	研修委員会	13日	事務局会議
10日	フリーダイヤル実施	16日	自殺予防講演会 志田博和氏
14日	事務局会議	18日	理事会
19日	理事会	22日	事業委員会
23日	事業委員会	30日	公開講座（雨宮清昭講師）
24日	17期養成研修	31日	17期養成研修
29日	広報誌第56号発行	2月 1日	研修委員会
11月 2日	研修委員会	5日	事業委員会
6日	事業委員会	6日	公開講座（柏木定男講師）
8日	17期養成研修	7日	17期養成研修
10日	フリーダイヤル実施	10日	フリーダイヤル実施・事務局会議
11日	事務局会議	13日	公開講座（功刀弘講師）
16日	理事会	15日	理事会
21日	17期養成研修	3月 1日	研修委員会
28日	公開講座（高橋良臣講師）	6日	公開講座（小田切陽一講師）
24日	17期養成研修	10日	フリーダイヤル実施・事務局会議
12月 6日	17期養成研修	11日	事業委員会
7日	研修委員会	13日	公開講座（高戸宣人講師）
10日	フリーダイヤル実施		第17期養成研修
11日	事業委員会	15日	理事会
12日	17期養成研修	28日	17期相談員認定会議（30日認定通知）

## 編集後記

◆表紙に描かれましたのは大澤英二氏の若き頃の面影。詩は山梨いのちの電話の根となり支えて下さった氏に捧げられたものです。立ち上げから22年という年月はあっという間のようでもあり、また長かった気もします。この山梨の地において、今までに無かったものを始めるということはとてもエネルギーを要するものでした。47都道府県のなかで42番目となる人口数と、山間に長く分散し分断された地域性なども相まって、打てば響くというような訳にはいかず、コツコツと歩むより他に道はありません。その中心にあって常にゆるぎない姿勢で臨まれた氏の姿は大きな存在でした。これからもコツコツとゆるぎない歩みを続けて参ります。皆さまの変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



この機関誌は共同募金の配分金で発行しています。



NPO法人 山梨いのちの電話 広報誌第57号 / 2021年 6月発行

事務局 / 〒400-8799 郵便事業(株)甲府支店私書箱93号 Tel 055-225-1511 Fax 055-225-1512  
発行人 / 高戸宣人 編集 / 広報委員会 表紙イラスト / 甘利尚子 詩 / てんどうこみち